

R7.5.8 学習会参加者アンケートのまとめ

A：本日の研修で印象に残ったこと・内容を記入ください。

1. 思い込みや決めつけの反省

- ・診断結果に基づいて支援級が適していると考えていたが、思い込みや決めつけに反省の気持ちが湧いた。

2. コミュニケーションの課題

- ・園職員の思いが小学校の支援級の先生方にうまく伝わっていない印象がある。偏見や固定概念で話しているわけではないが、伝わりにくいとを感じる。

3. 子どもとの関わり方と発達障害の理解

- ・子どもとの関わり方や発達障害の在り方についての理解が深まった。合理的配慮や子どもに合った環境の整え方、社会モデルについての知識が得られた。

4. 就学先決定の流れの理解

- ・今までなんとなくだった就学先決定の流れがよく分かり、考え方を变えることで全く違う捉え方ができることを学んだ。

5. 成長ファーストの重要性

- ・子どもたちの成長を第一に考えることが重要であることを再認識し、周りの偏見を払拭することが大きな課題であると感じた。具体的なアプローチ方法や2次障害に陥らないチェックリストについても関心を持った。

A：本日の学びや気づきを生かし今後どのように取り組もうと思われませんか。

1. 個別対応の重要性：

- ・診断だけでなく、一人一人に合った対応を考えることが重要。
- ・子どもたち一人一人の特徴を理解し、その子に合う対応を探しながら試していく。

2. 環境の整備：

- ・子どもたちが過ごしやすい環境を作ること。
- ・小学校進学に向けて、普通級でどのように環境を整えるかを考える。

3. 合理的配慮と支援方法：

- ・就学に向けた子ども一人一人に合った合理的配慮を工夫する。
- ・決めつけではなく理解者として支える支援方法を考える。

4. 偏見の排除と丁寧な関わり：

- ・障害に対する偏見をなくし、丁寧に関わること。
- ・子どもを信じて、愛ビリーブを胸に刻む。

5. 原因の探求と成長の支援：

- ・現象面だけでなく、それを生み出している原因や理由をよく考える。
- ・子ども一人一人の成長を考え、自分の支援を日々見直す。